

令和8年4月22日

保護者 様

川崎市立西生田中学校
校長 佐藤 由美

警報発表時及び自然災害発生時における対応について（お知らせ）

日頃から本校の教育活動について、御理解と御協力をいただきありがとうございます。心から感謝を申し上げます。

さて、川崎市では自然災害発生時及び各種警報等が発表された場合、生徒の安全確保について次に示すような対応を取りますので、内容をよくご確認の上、ご理解いただきますようお願いいたします。

■「特別警報」及び「暴風警報」・「暴風雪警報」発表時について

1 神奈川県の全域、または県内の一部（川崎市に限りません）に「特別警報」及び「暴風警報」・「暴風雪警報」「降灰予報」のいずれかが**午前6時の時点で発表**された場合、あるいは発表が継続されている場合は、生徒の安全確保のため、**当日一日を臨時休業**とします。また、午前6時の時点で、神奈川県のいずれの市町村等の「特別警報」「暴風警報」「暴風雪警報」「降灰予報」が解除されていた場合でも、**市内の全駅**を含む区間で**市内鉄道会社全社※が計画運休を実施**している場合も、**当日を臨時休業**とします。

（※JR 東日本、京浜急行電鉄、東急電鉄、小田急電鉄、京王電鉄）

2 「特別警報」及び「暴風警報」・「暴風雪警報」以外の警報（「大雪警報」「大雨警報」等）

が午前6時の時点で発表された場合、あるいは発表が継続されていた場合などについては、原則通常授業となりますので、安全に留意して、無理のないように登校させてください。ただし、生徒の登校に重大な支障をきたす恐れがあり、学校が休校と判断した場合のみ、ミマモルメでお知らせします。

3 **生徒の登校後**に「特別警報」及び「暴風警報」・「暴風雪警報」が**発表された場合**については、**授業を繰り上げ、安全なうちに生徒を下校**させます。ただし、下校する時間が台風等の襲来などと重なる恐れのある時は、生徒を学校で待機させるなどの安全措置を講ずることがあります。また、「特別警報」及び「暴風警報」・「暴風雪警報」以外の警報が出た場合、計画運休が発表された場合並びに警報等が出ていない場合でも、天候の悪化が予想され、生徒の下校に重大な支障をきたす恐れのある場合に、学習途中で下校させるかどうかについては、その都度学校が判断いたします。

いずれの場合も、授業を繰り上げ、学習途中で下校させるようなときは、ミマモルメでお知らせいたします。

4 その日一日を臨時休業と決定した場合、途中で天候が回復しても登校時刻を繰り下げて授業を実施することはいたしません。ただし、通学路の安全を確認したうえで、部活動や委員会活動など放課後の生徒の活動について実施することがありますが、その際はご連絡いたします。

■地震発生時の児童生徒の安全確保について

1 臨時休業について

川崎市内のいずれかの地域（麻生区とは限りません）に、震度5強以上の地震が発生した場合は、発生した日の翌日を臨時休業にいたします。

もし、発生時刻が始業時刻前の場合は、発生した当日についても臨時休業にいたします。（登校時間帯に重なり、登校してしまったお子さんについては学校でお預かりします。）

また、発生した日が休日、休前日（たとえば金曜日）の場合は、休日明けの平日を臨時休業にいたします。また、休日明けの平日が課業日でないとき（夏季休業中や振替休日など）は、生徒の学校での活動をすべて中止といたします。

なお、施設設備や地域における被災状況を踏まえて、生徒の安全確保を図るために、校長の判断で引き続き臨時休業や登校時刻を変更する場合があります。

2 生徒の下校

授業など学校での教育活動中に、川崎市内のいずれかの地域（麻生区とは限りません）に、震度5強以上の地震が発生した場合は、保護者とあらかじめ合意した方法で下校させることとなります。

■大規模な風水害等による緊急避難場所開設に伴う学校の対応について

1 発令された警戒レベルにかかわらず①緊急避難場所が開設された。②実際に大規模避難等があった。③翌日からの教育活動が困難だと校長が判断した。

以上の全てに該当する場合は、緊急避難場所が閉所され業務が終了した時刻が属する日とその翌日は臨時休業となります。

2 緊急避難場所が開設されたことのみをもって、臨時休業とするものではありません。避難者が少なく、学校運営に支障がない場合は、学校は生徒の安全に配慮して教育活動を行います。

3 施設設備や地域における被災状況を踏まえて、教育活動の安全確保を図るために、引き続き臨時休業や登校時刻の変更等を行う場合があります。

4 上記において、いずれの場合も、ミマモルメでお知らせいたします。

■その他

臨時休業日の遠足・修学旅行・自然教室・体験学習は原則として、延期・中止とします。

火山噴火により人々の生活に影響を及ぼす降灰が予想される場合に気象庁から降灰予報が発表されます。

上記の点について、ご不明な点がある場合は、教頭（Tel 966-8515）まで御相談ください。

各種警報発表時及び自然災害発生時における児童生徒の登校・下校について

	警報、事象	保護者の対応	学校の対応	
			授業の扱い	出欠席
登 校 前	「特別警報」及び「暴風警報」・「暴風雪警報」を伴わない「大雪警報」「大雨警報」等の警報が発表中の場合	保護者が安全と判断した場合に登校させる。	原則として通常どおり。	保護者の判断で登校を見合わせても欠席・遅刻にはならない。
	神奈川県内のいずれかの市町村等に「特別警報」及び「暴風警報」・「暴風雪警報」のいずれかで午前6時の時点で発表継続中の場合(※1)	登校させない。	当日が臨時休業	欠席にはならない。
	午前6時の時点で市内の全駅を含む区間で市内鉄道会社全社が計画運休を実施している場合(※1、2)	登校させない。	当日が臨時休業	欠席にはならない。
	川崎市内のいずれかの地域に震度5強以上の地震が発生した場合	登校させない。	当日と翌日が臨時休業	欠席にはならない。
	緊急避難場所が開設された場合	学校からの連絡により対応する。	臨時休業とするかどうかは学校が判断して連絡する。	臨時休業となった場合は欠席にはならない。
	午前6時の時点で降灰予報が発表継続中の場合(※1、3)	登校させない。	当日が臨時休業	欠席にはならない。
登 校 後	「特別警報」及び「暴風警報」・「暴風雪警報」を伴わない「大雪警報」「大雨警報」等の警報	学校から連絡があれば、その内容に応じて、対応する。 保護者の判断で引取を行うこともできる。	原則として通常どおり。	早退にはならない。
	神奈川県内のいずれかの市町村等に「特別警報」及び「暴風警報」・「暴風雪警報」のいずれかで発表された場合	学校からの連絡により対応する。	・授業の繰り上げ措置 ・下校方法を連絡	早退にはならない。
	川崎市内のいずれかの地域に震度5強以上の地震が発生した場合	・小学校、特別支援学校 児童生徒の引取 ・中学校、高等学校 学校と予め決めた方法で対応	・授業の繰り上げ措置 ・翌日が臨時休業	早退にはならない。
	緊急避難場所が開設された場合	学校からの連絡により対応する。	臨時休業とするかどうかは学校が判断して連絡する。	臨時休業となった場合は欠席にはならない。
	降灰予報が発表された場合(※3)	学校からの連絡により対応する。	・授業の繰り上げ措置 ・下校方法を連絡	早退にはならない。

【留意事項】

- ・保護者は、「ミマモルメ」等による学校からの連絡を確認し、お子様を引き取りに来てください。保護者がお見えになるまで、お子様は学校でお預かりいたします。
- ・保護者の代理の方が引き取る場合は、必ず保護者が学校へ連絡してください。連絡がない場合には、引き渡しができない場合もあります。
- ・上記以外の理由で教育活動の安全確保を図るために、臨時休業とする場合があります。
- ・小学校に設置されている「わくわくプラザ」につきましては、当該小学校が臨時休業した場合は、原則臨時休室となります。

※1 高等学校定時制課程昼間部においては午後11時、夜間部においては午後2時の時点とします。

※2 高等学校においては市内の鉄道事業者に限らず、通学に支障が生じる場合、各校の状況に応じて対応します。

※3 火山噴火により人々の生活に影響を及ぼす降灰が予想される場合に気象庁から降灰予報が発表されます。(気象庁HP参照https://www.jma.go.jp/jma/kishou/known/kazan/qvaf/qvaf_guide.html)